



いほき

協議会だより

発行 令和4年3月25日
伊保木ぐるみ協議会
光市大字室積村 858
電話：79-0934

No.211

「協議会・老人クラブの総会」と「お花見会」は中止します

日ごとに暖かさを感じられるようになって、各地から桜の開花宣言が届く季節となりました。

しかし、新型コロナウイルスのオミクロン株が拡大した第6波もピークを越えましたが、感染の減少は緩やかなため、高齢化率が70%近い伊保木では気を緩めることができません。

そのため、3年連続となって残念ですが「伊保木ぐるみ協議会と老人クラブの総会」および「お花見会」を中止いたします。

総会資料などの取り扱いについては、次のようにさせていただきますので、ご質問やご意見のある方は、それぞれの役員や会長までご連絡ください。



- 協議会 総会資料を4月25日の広報ひかりと一緒に班長と役員に配付します。3密対策をしながら行事を開催しますので、ご参加ください。
- 老人クラブ 総会資料を4月初旬に会員に配付します。新型コロナウイルスが沈静化次第、みんなが集える場を設けます。

「環境整備」にご協力ありがとうございました

2月26日(土)に有志21人がセンター周辺とドライブイン燈台東側の環境整備をしました。

センター周辺では、草刈りとヒマワリなどを植栽するためにセンター北側の耕耘や花壇の整備を実施しました。

ドライブイン燈台東では、昨年11月に伐採した草や木の処分。11月に種を蒔いた菜の花が咲き始めました。

また、センター周辺、国道からのコミセンへの進入口と燈台東に約300球の水仙を植え付けました。



菜の花が咲きました



ドライブイン燈台東側



センター北側を耕耘



水仙の植え付け

室老連の「片付けと終活」講演会に参加しました

室積老人クラブ連合会の寿教室で、『さあ始めよう！「片付け」と「終活」』をテーマにマスターライフオーガナイザーの秋山陽子さんの講演があり、40人が参加しました。

秋山さんは、広島で片付けの現場作業や、講師、執筆業で10年以上の実績があり、地域おこし協力隊員の林さんの紹介で、講演会が実現しました。

片付けを、『頭の中の片づけ⇒整理⇒収納⇒整頓⇒片付け⇒そうじ・インテリア』の順序のステップに分け、「まず最初に頭のなかを整理する」大切さを説かれました。

終活の「なかなか捨てられない問題」については、手放していいもの専用の箱をつくり、子どもや若い世代の力を借りて捨てていくと良いそうです。

ハッピーノート（エンディングノート）という終活用のノートに書きだす必要性や、今日からできる便利な終活用アイテムも多数紹介がありました。

長年の現場経験に基づいた話は、分かりやすいと好評でした。伊保木からも4名が参加しました。

来年度は、伊保木でも開催を予定していますので、多数ご参加いただければ幸いです。



「古紙回収」へのご協力 ありがとうございました

先号でお願いしました「古紙回収」は、右図のような結果となりました。新型コロナの感染拡大により消費活動が低下しているなか、9.4tonの回収ができ、ありがとうございます。

来年度も毎月第2月曜日に「古紙回収」を実施しますのでご協力をお願いいたします。



「ドローン撮影」をします

広報部では、3月26日（土）と27日（日）、4月2日（土）と3日（日）に五軒屋から岩屋にかけて、桜の撮影を計画しています。

ドローンを見かけましたら手を振ってください。あなたが主役になれるかもしれません！

映像を編集して、サロンや文化祭などで、公開したいと思いますので、ご期待ください。

